

ポイント

どうして、「ハッピーエンド」ってわかったのかな？



フローラは本を読み終えたとき、どんな気持ちだったのかな？



○登場人物の人物像・登場人物の相互関係・物語の展開・表現の効果等，**読みの観点を明確**にできるようにすることが大切です。

○自分一人の読みでは気づかないことでも，**交流**することで気づくことがあります。必要に応じて，教師が問いを投げかけたり，友達との交流を促したりして指導しましょう。

○登場人物の行動や会話に着目させる際には，それぞれの文の**主語**を意識しながら読むように促すことも考えられます。

△正答例▽  
 (だれにも見つからずに、)本を最後のページまで読めたことで、本に書いてあることが分かりま  
 んぞくした(から。)  
 △誤答例▽  
 だれにもじゃまされず、本をたくさん読むこと  
 ができた(から。)

本設問では，理由だけでなく，**気持ち**を説明する必要があります。

読むこと(文学的な文章)

4

第四学年

登場人物の気持ちの変化について、叙述を結び付けて想像することが出来る。「第三・四学年 思判表 C(1)E」

(3) —— 線部ウ「やっぱり、ハッピーエンドはいいわねえ。」とありますが、フローラがこのようなひとりごとを言った理由とそのときの気持ちを、次の「やんぞく」を守って書きましよう。

- 「やんぞく」
- 「だれにも見つからずに、」に続けて、「から。」につなげるように書くこと。
  - 十五字以上、四十字以内で書くこと。(句読点も一字と数える。)

正答率 11.8%  
 無解答率 32.3%



ポイント



筆者は何が言いたいのだろう？

要旨をとらえるといいのかな？



「そのちがい」の「その」って何だろう？

○序論・本論・結論の大きなまとまりをつかみ、その中心となる部分を見付けさせましょう。

○指示語や接続語に注目させて指導することも必要です。

○学習の見通しをもって、文章を読んで理解したことに基づき、考えたことを文章にまとめることも大切です。

読むこと（説明的な文章）

4

第五学年

目的に応じて文章を読み、必要な情報を取捨選択し、再構成することができる。  
〔第五・六学年 思判表 C(1)ウ〕

(3) —— 線部「わかり合うための第一歩」とありますが、筆者の考える「第一歩」とはどのようなことですか。十五字以上、三十五字以内で書きましょう。（句読点も一字と数える。）

△正答例▽

同じできごとであっても、見方のちがいに気づくと考えていくこと。

△誤答例▽

そのちがいに気づくこととすること。

本設問では、文章の中から必要な情報を取捨選択し、整理、再構成する必要があります。



正答率 36.7%  
無解答率 14.6%

# 書くこと

## 第四学年

考えたこととそれを支える理由を明確にして書くことができる。

〔第三・四学年 思判表 B(1)ウ〕

3

和歌山小学校の上田さんは、毎日使う水がどのようにして家にとどいているのか調べ、ほうこく書を書いています。次の【調べて分かったこと】と【思ったこと・考えたこと】、【ほうこく書】を読んで、あとの(1)～(3)に答えましょう。

【やくそく】

- 「調べて分かったこと」と「思ったこと・考えたこと」の内容を、それぞれ取り上げて書くこと。
- 「だから」という言葉を使うこと。
- 六十字以上、八十五字以内で書くこと。(句読点も一字と数える。)

【調べて分かったこと】

・ じゃよう水場の方たちは、毎日、機かいの点けんやしゅうりをしてくれていること。

・ 川から取り入れた水をきれいにする作業は、三時間かかること。

△正答例▽  
川から取り入れた水をきれいにする作業は、三時間もかかることが分かりました。だから、家族でも水を大切に使う方法について話し合いたいです。

【思ったこと・考えたこと】

・ 感しやの気持ちをわすれず、水を使う時には、出しまぎないようにすること。

・ 家族でも水を大切に使う方法について話し合いたい。

△誤答例▽

(調べて分かったことだけを書いている。)  
川から取り入れた水をきれいにする作業は、三時間かかり、じゃよう水場の方たちは、毎日、機かいの点けんやしゅうりをしてきています。



正答率 18.9%  
無解答率 14.3%

本設問では、情報を整理し、考えとそれを支える理由等の関係を明確にして書く必要があります。

# ポイント

書く目的や内容を検討する時間を設定し、伝える相手を明確にしたり、経験をもとに材料を集めたり、何をどのように書くかを考えたりできるように指導しましょう。

キーワードに印をつけることで、必要な情報と不必要な情報を分類することができるね。



選んだ情報に印をつけたり、ICTを使ったりして関係づけ、伝えたいことを明確にしてみてもうかな。



○文章を記述する場面では、友達と助言し合いながら、児童自身が自分の文章を何度も見直したり、書き直したりできるように指導することが大切です。また、モデルとなる文章を提示することも効果的です。

## 話すこと・聞くこと

### 第五学年

5

相手に伝わるように、話の中心が明確になるように構成を考  
えることができる。「第三・四学年 思判表 A(1)イ」

田中さんたちは、この話し合いをふまえて発表の準備をしています。次の「発表原稿」と「資料」を読んで、あとの問いに  
答えましょう。

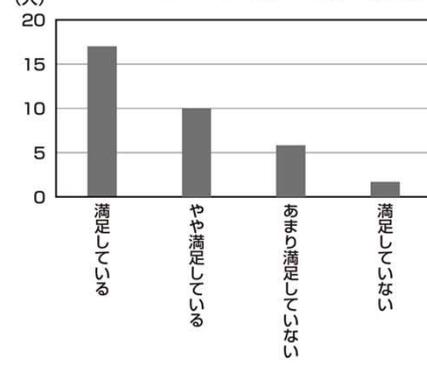
【発表原稿】

わたしたちは、タブレット型たん末を使った学習にはどんなよいことがあるかについて話し合いをしました。そこで、学級のみなさんにアンケートをとりました。はじめに、そのアンケート結果から分かったことを「満足度」と「満足している理由」に分けて説明し、最後にタブレット型たん末を使った学習のよさについて考えたことを発表します。

まず、「満足度」です。資料を見てください。満足している人は十七人、やや満足している人は十人でした。わたしたちの予想どおり、学級の多くの人がタブレット型たん末を使った学習に満足しているということが分かりました。次に、「満足している理由」です。理由には、いろいろな答えがありました。おもなものとして、「苦手なところやもっと知りたいところを動画で確認するなど、各自で学習できる」、「移動せずに他校や遠くの人とやりとりをしながら学習できる」などがありました。

【資料】

タブレット型たん末を使った学習の満足度



正答率 43.7%  
無解答率 3.9%

(2) 田中さんたちが、——線部のような発表内容とした理由として最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。

- 1 発表の流れを先に説明することで、伝えたいことを分かりやすくするため。
- 2 発表の流れをくり返し説明することで、聞き手に関心をもってもらうため。
- 3 アンケート結果から分かったことを伝えることで、説得力をもたせるため。
- 4 話し合った内容をいねいに説明することで、考えを理解してもらうため。

△正答▽

1

「3」を選んでいる誤答が多  
くみられました。

△誤答▽

本設問では、伝えたいこと  
の中心が聞き手にわかりやす  
くなるようにしていることを  
把握する必要があります。



ポイント



聞き手にわかりやすく  
するためにはどう  
したらいいのかな？

最初に話す順番を言  
うとわかりやすいか  
もしれないね。



伝えたいことに合わせ  
て事例や理由を述べて  
最初に提示した内容と  
結論がずれないように  
注意する必要があるね。



○目的に応じて、自分に合  
った情報を**選択**し、整理すると、  
自分の考えをまとめる際に必  
要な情報が明確になります。

○教師が作成したモデル文な  
どを教材として、内容や分量、  
話し方などに着目できるよう  
にすると効果的です。

ポイント



修飾語は、ほかの部分の内容をくわしく説明する部分だよね。

そうだね。「ひらひらと」という修飾語がどの部分の内容をくわしくしているかを考えるといいね。



「くわしくしているのはこの部分かな？」と思う部分と続けて読んで、意味が通るかどうかを確認すると、修飾・被修飾の関係が確認できるよ。

○書いた文章を友達と読み合い、「いつ」「どこで」「どんな」「どれくらい」といった質問をし合い、修飾語が文をより詳しく分かりやすくできることを**確かめる**活動を取り入れると効果的です。

○学んだ知識は、その後、**繰り返し活用**する機会をもつようにしましょう。

言葉の特徴や使い方に関する事項

第四学年

修飾と被修飾との関係を理解している。

〔第三・四学年 知技(1)カ〕

1

(4) 次の文の——線部の修飾語は、どの言葉に係っていますか。あとの1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

ひらひらと たくさんの 花びらが 水面に ちる。

- 1 たくさんの
- 2 花びらが
- 3 水面に
- 4 ちる

△正答▽

4

「2」を選んでいる誤答が多くみられました。

△誤答▽

本設問では、「ひらひらと」「どうする」かを把握し、**文の構成**を理解する必要があります。



正答率 34.4%  
無解答率 0.5%

# 国語科の授業づくりのポイント



教材に即した**指導事項（資質・能力）**を設定しましょう。

- ・教科書会社が設定している指導事項を確認する。
- ・児童の実態に応じて、習得が不十分な指導事項を取り上げること考える。
- ・指導事項の重点化を行い、1教材・1時間で指導すべき指導事項を精選する。

**到達すべき児童の姿（目標）**を**具体的に**設定しましょう。

「どのような姿」になれば、「その資質・能力を身に付けられたと言えるのか」を具体的に設定する。「どのような姿」は学習指導要領解説を確認する。

「言葉による見方・考え方」を働かせる**言語活動**を設定しましょう。

- ・「言葉による見方・考え方」…対象と言葉，言葉と言葉との関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉えたり問い直したりすること。  
（例）言葉と言葉を比較してみる。言葉の順序について考えてみる。
- ・言語活動が目的化しないように注意する。  
言語活動を通して，指導事項を指導する。

国語科の目標…**言葉による見方・考え方**を働かせ，**言語活動**を通して，国語で正確に理解し適切に表現する**資質・能力**を育成することを目指す。